



2026年2月27日

各 位

会 社 名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証プライム市場)
代 表 者 名 代表取締役社長 栗田 貴也
問 合 せ 先 取締役 兼 CFO
兼 ファイナンス本部長 山口 聡
電 話 番 号 03-4221-8900

三菱 UFJ 銀行「人的資本経営評価型ファイナンス」による資金調達のお知らせ

株式会社トリドールホールディングス(以下、当社)は、株式会社三菱 UFJ 銀行(取締役頭取執行役員:半沢 淳一、以下、三菱 UFJ 銀行)との間で、人的資本経営評価型ファイナンス(以下、本件ファイナンス)として、三菱 UFJ 銀行が全額引き受けとする社債を発行いたしました(以下、本件社債)。

なお、本件ファイナンスは国内の外食企業において、初めての取り組みであり、また、三菱 UFJ 銀行における本件ファイナンスによる社債引き受けの第1号案件となります。

記

本件社債は、人的資本経営に関する取り組みが、一定以上の評価を得た企業を対象とした評価型融資商品で、発行概要は以下となります。

【発行概要】

払込期日	2026年2月27日
発行金額	30億円
償還期限	7年
資金使途	事業資金および投資資金 等

評価は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が独自に策定したチェック項目に基づき実施され、日本格付研究所(JCR)のサポートのもと、客観的かつ専門的な観点からスコアリングおよび課題のフィードバックが行われております。

当社は、今回の人的資本経営評価において、「特に進んでいる人的資本経営」との評価である A ランクを取得しました。

今回、高く評価を受けた当社の人的資本経営に関する主な取り組みは以下となります。

✓ 経営戦略 ～ビジョンと方針～

会社独自の考え方として、従業員の幸福がお客様の感動に繋がり、繁盛に繋がるという考え方の「心的資本経営」を定義し、公表している。

✓ 経営戦略 ～人材戦略と経営戦略の連動～

会社の中長期的な成長の為に必要となるポジションを特定し、その領域に対してギャップを埋める為の取り組みを実施している。更に、人材に関連する KPI・目標を設定し、達成に向けた具体的な施策を展開し、経営層含め評価を実施している。

また、役員報酬に関わる指標のなかにて「従業員エンゲージメント等の状況」が組み込まれていることを公表している。

✓ 育成 ～スキルと経験～

従業員一人一人のパフォーマンスとキャリア開発について定期的な面談とレビューを実施し、面談履歴の管理等にシステムを利用した仕組みも構築している。全従業員が持ち続ける普遍的な行動や考え方、成長哲学である「トリドール3頂」が制定されており、この哲学に基づき成長できるよう人事評価や人材育成が運用されている。

✓ 従業員エンゲージメント ～エンゲージメント向上施策～

従業員エンゲージメントの向上の為に、多岐にわたる施策を講じ、結果がエンゲージメントスコア(ハピネススコア)に反映されることで、PDCAを回す体制を構築している。

✓ 流動性 ～人材確保と定着の取り組み～

専門委員会を発足し、多様な人材が働きやすい職場作りの実現にむけて、働き方改革を実施している。離職率のKPIを設定し、効果の確認と結果を公表している。

✓ ダイバーシティ ～ダイバーシティを推進する為の取り組み～

従業員及び経営層の多様性に関する情報を公開し、社内のダイバーシティを推進する為の取り組みとして、目標の設定や勉強会を実施している。出産・育児休業制度の管理職に対する啓発や、時短勤務など柔軟な勤務を検討するなど復職率を高める施策を講じ、公表することで、従業員が長く働き続ける為の環境づくりを推進している。

✓ コンプライアンス/倫理 ～方針・体制～

「企業倫理憲章」および「トリドール行動基準」をコンプライアンスの基本方針として公表し、専門委員会のもとで「ハンドブック」の作成等により周知徹底・教育を図ることを公表している。

当社は、先進的なグローバルフードカンパニーとして、昨今注目されている人的資本経営をさらに深めて、「従業員の“心”の幸せ」と「お客様の“心”の感動」を共に重要な資本ととらえ、どちらの“心”も満たし続けることで唯一無二の事業成長を実現する経営思想「心的資本経営」を推進しております。

今後も、「心的資本経営」を原動力に、持続的な事業成長の実現と企業価値の向上を図ってまいります。

以 上